

日本伝道を担う青年の集い

9月の第4土曜日に開催される“青年の集い”は、献身を考えている若い世代に向けた催しです。開会礼拝に始まり、さまざまなテーマ設定による分団での話し合い、模擬授業などが行われます。先輩伝道者から「献身の証し」を聞き、また神学校の様子を体験するまたとない機会です。



神学の学びの一端に触れる、青年の集いの模擬授業



卒業礼拝
卒業・修了式
3月入試・合格発表



オープンキャンパス
クリスマス礼拝
クリスマス愛餐会

3月

2月

1月

2月入試・合格発表

12月

11月

10月

クリスマス

クリスマスが近づくと、各地から届くクリスマスカードがチャペル前に並びます。コーラス部によるメサイア演奏会、クリスマス礼拝、学生会によるクリスマス祝会などが行われます。

全学修養会

11月入試・合格発表



東神大の誇る神学専門図書館

東京神学大学の図書館は、神学、宗教学、哲学を中心に、古今東西のキリスト教文献を収集している日本一の神学専門の図書館です。蔵書数は、およそ10万冊（洋書約6万冊、和漢書など約4万冊）で、学内のみならず学外の研究者にも広く利用されています。



愛すること、祈ることを学ぶ教会生活

大学院2年 ^{うめざは}梅實 淳一

神学生は、大学での学びと並行して1年を通して教会に仕えます。私の場合、出身教会と現在の出席教会は同じなのですが、神学生になって変わったことのひとつに、「梅實神学生」と呼ばれるようになったことが挙げられます。そして自分の中にも「梅實さん」だったときは違う責任感が生まれてきました。例えば、教会学校教師などこれまでと同じ奉仕でも「自分は神の働きに参与しているんだ。そのために、召され、立たされているんだ」という気持ちを強く感じるようになりました。ですから、自分勝手なことはできません。何が正しいことか、自然と祈り求めるようになりました。

また、神学生は、教会員の方々から本当によく祈られるようになります。教会の祈り会や、個人の祈りの中に入れていただくのは、とてもうれしい経験です。一方、自分自身を省みると、単なる一教会員だったときは、他の信徒の方々のことを本気で考えることは、正直、あまりありませんでした。でも今は、教会員の方一人ひとりの顔を思い浮かべて祈っています。教会生活では、まごころを持つこと、愛すること、祈ることを学びます。